

あいの実 小平通信

～あんず・りんご・かりん～



春風、スギ花粉、一方で低温や積雪など、目まぐるしい気候の変化のなか年度末を迎えました。あいの実小平では、保護者会で1年を振り返りつつ来年度に向けての準備を進めています。また「あんず」卒園や「りんご」卒業を迎える子どもたちと残された日々を大切に過ごしています。

●3月は年に2回定期的に行っている避難訓練を行います。前回9月の反省を生かし再度「入浴中の地震被災」を想定し検証します。利用者さん一人ひとりについて災害時起こる可能性のあるケースを共有し対策を考え、また保護者との連絡手段などの見直しも行います。

●当施設は、小平市との協定により福祉避難所に指定されており、小平市は「通常ご自宅で被災され避難が必要になった時は、お住まいの地域の(各市)一時避難所に避難していただきます。その後、福祉避難所への避難が必要と自治体が判断した方がおられた場合、各自治体より福祉避難所に受け入れ対応可否確認が行われ、開設された福祉避難所に避難という流れになる」としています。ただ当法人を利用されている方は、自治体にその旨お伝えいただくか、事業所にご連絡いただければ可能な限りご検討させていただきます。

●2024年度(令和6年度)4月より障害福祉サービス等の報酬改定が行われます。持続可能で質の高い障害福祉サービス等の充実のために事業者の報酬体系を厚生労働省が見直すことを目的に実施される制度改正です。新しいサービス利用料金につきましては後日各ご家庭に書面にてお知らせいたします。



職員
コラム

おはなしの実

本年1月1日付けであいの実武蔵村山から異動であいの実小平(りんご)にやってきました野澤晶則と申します。小平の雰囲気早く溶け込みたいと思っています。よろしくお願いたします。

以前杉並区の看護学校(荻窪駅と阿佐ヶ谷駅の真ん中あたり)に通っていたことを最近ふと思い出しました。ちょうど「ラーメン」にハマっていた時期です。荻窪はラーメンの激戦区で、当時は「春木屋」さんがダントツの一番人気店でした。常に行列ができていてなかなか入れずにいました。ある休日、看護学校の友人とその娘さん(低学年)と来店すると、人気店ゆえにかなり混雑していたのですが、店員さんは私たちを店内の奥のテーブル席に招き入れて下さり、「ゆっくりと召し上がってください。スープが熱いのでお子様には小鉢どうぞ。」とまさに「神対応」でした。スープが最後まで熱々でした。

また、煮卵発祥の「漢珍亭」さんは荻窪駅の真横の細い路地の2階にある雰囲気のあるよいお店でした。残念なことに最近閉店になったみたいです。荻窪には、本当に美味しいラーメン店が多かったです。

でも一番好きなラーメン店は、西武柳沢の「一丸」のワンタン麺でした・・・ジャンジャン。

りんご 看護職員 野澤 晶則

